



よりよい学びを自ら選択できる子どもの育成

令和の学びに向けて ～授業改善の取り組み～

本校教育目標は「ふるさと竜門の大地を愛し、自ら学び、考え、行動する子どもを育てる」ことです。昨年度までの3年間は「伝え合う力」に主軸をおいて、対話的・協働的な学びの習得を目指してきました。そして現在、全国の学校で「令和の日本型教育」の実現に向け教育の在り方が大きく変わりつつあるなか、本校においても、さらに「主体的に学ぶ力」を育成するため、研究主題を「**よりよい学びを自ら選択できる子どもの育成**」とし、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出すため、日々授業改善に取り組んでいます。



①選択の場の充実

「どの課題に取り組むか」「どの方法で表現するか」など、選択する場面を多く取り入れ、自分で選ぶ経験を通して考える力や責任感を育てます。

②個別最適な学びと自由進度学習

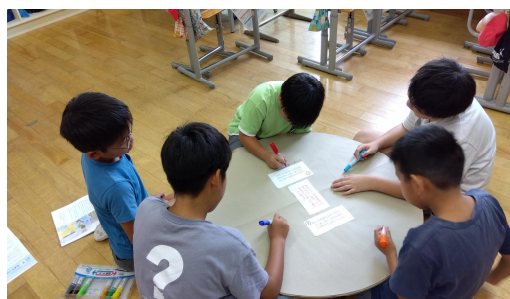
子どもたちの理解の進度に応じて、学び方や進み方を工夫しています。自分のペースで課題に取り組める

「自由進度学習」では、達成感や自信を育みながら主体的に学ぶ力を伸ばします。

③対話的・協働的な学び

友だちと意見を交わしながら課題に取り組む活動を通して、互いに学び合う力を育んでいます。

これらの授業改善や教育目標はすぐに達成できるものではなく、子どもたちの理解度や実態に合わせてスモールステップを重ねる必要があります。**裏面に本校研究部よりの「今年度の取り組み」**について記載させていただきました。



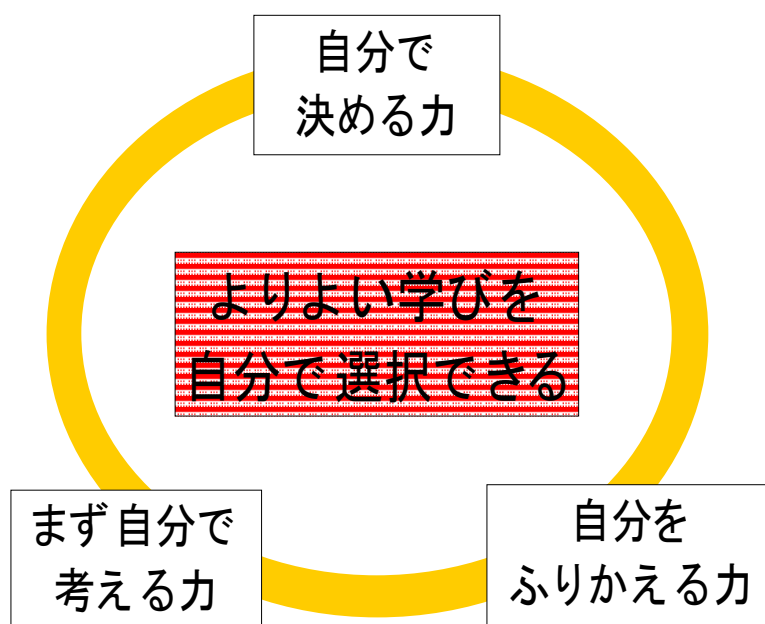
これからも、子どもたちが未来を切り拓く力を身につけられるよう、学校全体で取り組んでまいります。今後とも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【本校研究部より】

右の図は、学校教育目標に向けて、本校が子どもたちにつけたい力です。

「よりよい学びを自ら選択できる力」を育成し、将来、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合うことができるようになって欲しいと願っています。これらの力を身につけさせることで、**よりよい学びを自ら選択できる、自己調整力のある子ども**を育てていきたいと考えています。

※自己調整力・・・子どもが自分で目標を立て、どうすればうまくいくかを考えながら学習を進め、結果を振り返って次に活かす力



【1学期の取り組み】

①授業の中で子どもたちが選択する場面をつくること
書く活動の際にノートかタブレットかを選択する。レベル別に用意されたプリントの中から選ぶ。復習するところやどうやってするかを選ぶ。…など、授業の中で選択する場面を取り入れています。

②自分で計画を立てて宿題に取り組める機会をつくること
従来の宿題のように全員に同じものを出すだけでなく、各学年の発達段階や子どもたちの様子をみながら、今年度は少し出し方を変えています。

【2学期からの取り組み】

○1学期の取り組みに加え、様々な授業の形態を取り入れて進めています。
例えば、「わからないところがあったらすぐに聞く」のではなく、まずは自分で考える時間を確保する、子どもたち同士で学び合う、単元の計画に沿って、自分の進度で学習を進める(単元内自由進度学習)などです。



学習においても生活においても、「誰かに言われたからやる」のではなく、「**自分にとって必要だからしよう!**」と行動できる**子どもたち**が育っていくことを期待しています。

今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、学校と家庭が連携しながらともに歩んでいければと願っています。何かご不明な点やご意見がございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。